# 利用手順マニュアル astroll Ansible driver 別紙 Ansible利用ガイドライン astroll追加ルール

第1.0.0版

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

# 免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

# 商標

- LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

#### Ansible利用ガイドライン(astroll追加ルール)

No. 項目	験当: Legacy Ro		astroll取り込み不可例	ルールに準拠しな い場合の影響機能	影響現象	エラー表示例
東数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。     ※ユーザ定義側面の連載ルールはAnable ルールに率する	0 0	○ - name: ファイル内容確認 command: cat /tmp/{{\textstyle VAR_SAMPLE}}	*・『事ました』「と変素名の側に「非角スペース」がない command cat /tmm/「VAR SAMPLE」 ・『『または『』と変素名の側の「非角スペース」が2個以上ある command cat /tmm/「VAR SAMPLE」 ・『『または『』と変素名の側の「非角スペース」が2個以上ある command cat /tmm/「VAR SAMPLE」 ・製菓文字VARJが、文字によっている。 command cat /tmm/「var SAMPLE」 ・製菓文字VARJO「Jがない。 command cat /tmm/「VARSAMPLE」 ・製剤を対して、Jがない。	代入値管理	・登録の場合 Movementを選択しても変数名に授材として表示しませ が。 作業実行時に変数未定義のエラーとなります。 ・実施の場合(代入植管理器技術)におけい協加ルールが の起動のJulysookに要乱に集合) 変数名に「10変換失数(の)(※のは登録時の管理器号)と 表示します。 作業実行時に変数未定義のエラーとなります。	通数
2 astrollWebUI上のテンプレート管理メニューでテンプレート集材を登録をする際、 テンプレート理点変数名の検頭文字をTIPEとし、TIPEを含め128Byte以内とする。	O ×	<u>デンプレート連込度数名</u> ⊕ デンプレート責材 TPF_SAMPLE sample_bxt	TPE.SAMPLE  *"『または"』と変数名の側に「半角スペース」がない	テンプレート管理	登録開業でパリデーションチェックを行っているので、 autoの追加ルールに準拠しないテンプレート理込変数名は 登録できません。	Web = 2+2-0x/2 € 10  A (UF-5-0-15-EF.  OX
アップロードしたテンプレート素材をplaybook内で指定する場合は、playbook内の変数を以下 さずる。 (本の金融を開発の日本語 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 ×	x - name: ファイル配置 template: src=   TPF_SAMPLE    dest=/tmp/SAMPLE.xt	* ii ま(こも ii) こを致めるUMB(・ドラリイハース)アがない templates = em=[TP - SAMPLE] dest=/mm/SAMPLELX * ii または iii と iii を ii を iii を ii	テンプレート管理	登録したテンプレート条材への直換が行われません。	□ 重行状況(エラーログ)  フィルタ:  □世報行の入表意  デFingform ファイル(template, yal)の計画のtemplate モジュールのシャットライルはかってまたは確認されている実験が呼至。
tasksディレクトリ内のplaybookやtemplatesディレクトリ内のテキストファイルで使用する変数 は、 は、 ・ ※具体値は必須ではない	× C	【tasks/main.yml】 - name: デンプレーナファイル内容接近 - name: デンプレーナファイル内容接近 - command: cat./mg/l/VAR SAMPLE 01   - command: cat./mg/l/VAR SAMPLE 02   - command: cat./mg/l/VAR SAMPLE 03    【defaults/main.yml】 VAR SAMPLE 01: SAMPLE 01.txt VAR SAMPLE 02: VAR SAMPLE 03.SAMPLE 02.VAR SAMPLE 02   - VAR SAMPLE 03: SAMPLE 03.txt	[tasks/main.ymi] - name: デンプレートファイル内容確認 command.cat / tmy/『VAR.SAMPLE_01 』 command.cat / tmy/『VAR.SAMPLE_02 』 command.cat / tmy/『VAR.SAMPLE_02 』 [defoults/main.ymi] VAR.SAMPLE_03 』  Cefoults/main.ymi] VAR.SAMPLE_02 VAR.SAMPLE_03 SAMPLE_03.txt	ロールバッケージ管理	事前アップロード時に警告を表示します。	ロール(シケーシファイル(ZIP形式) 単和アップロード アップロード以及: ロール(A) の次数(YAR_SAMPLE_01)は交換定差ファイルに実施。
satrollWebUI上のグローバル変数管理メニューでグローバル変数を登録する際、 グローバル変数名の接頭文字をGBLとし、GBLを含め1288yte以内とする。	0 0	グローバル変数之命 思修理令 GBL_SAMPLE sample.bt	GBL_SAMPLE	グローバル変数管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、 actorは加加ールに準拠しないプローバル変数名は登録 できません。	WB < − > 255 65 4 7 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
グローバル変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義側側の定能ルールはAnable ルールに準する  ***  **  **  **  **  **  **  **  **	0 0	O name: ファイル内容確認 command: cat /tmp/l[ GBL SAMPLE	- 接頭文字(BBL)が小文字になっている command cat /mp/[ ii) SAMPLE II -接頭文字(GBL)の7.1がない command cat /mp/[ ii] CBL SAMPLE II -実数名が129文字以上多る	グローバル変数管理	作業実行時にグローバル変数の置換が行われないため エラーとなります。	- 接触文学(GBL)がルールに準拠してない場合  ままれた変称のファンスを  「日本のの本語  「Annie French State 1 (
7 ロールパッケージファイルに含むplaybookでグローバル変数を使用する場合、アップロードする前にグローバル変数を登録する。	× C	× ロールバッケージを登録する前にグローバル変数を登録している	ロールパッケージを登録する前にグローバル変数を登録していない	ロールバッケージ管理	事前アップロード時に警告を表示します。	ロール(ッケージファイル(ZIP形式) 事物アップロード アップロード検索: ロール(collsample) で使用されているグロー/ UL会数 (CGL_SAMPLE) はグロー/ UL会数書面に十重路。
astrollWebUI上のファイル管理メニューでファイル埋込変数を登録する際。 ファイル埋込変数名の接頭文字をOPF.とし、OPF.を含め128Byte以内とする。	0 0	ファイル乗込会校を与 ファイル基材 CPF_SAMPLE sample bit	CPF_SAMPLE	ファイル管理	登録画面でパリテーションチェックを行っているので、 astro追加ルールに準拠しないファイル権込変数名は登録できません。	we ペー3をものメッセーン  //LVアーションエターです。  O  O
ファイル理込変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。       ※ユーザ定義価囲の記載ルールはAnaibleルールに準ずる       #角大文字 ユーヴ定義       {       エー・アクラスペー       128byte以内       半角スペー	0 0	x - name: ファイル配置 copy: gro-II CPF.SAMPLE    dest=/tmp/SAMPLE.txt	""事とは""と答案名の間に「単身スペース」がない ong smellOFS SAMPLE II death timps (SAMPLE to the Copy smellOFS SAMPLE II death timps (SAMPLE to the Copy smell OFS SAMPLE II death timps (SAMPLE to the Copy smell OFS SAMPLE II death timps (SAMPLE to the Copy smell of SAMPLE II death timps (SAMPLE to copy smell of SAMPLE II death timps (SAMPLE to copy smell of SAMPLE II death timps (SAMPLE to copy smell OFS SAMPLE to copy smell OFS	ファイル管理	作業実行時にファイル埋込変数の匿換が行われないため エラーとなります。	- 接続と参数名の間の手角スペース、またII 特別又干(DP JD V)レールに達していない場合 国際に関係があり、 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけられる」 「おおけった」 「

No. 項目		該当モー Role		estroll取り込み可能例	estroll取り込み不可例	ルールに準拠しな い場合の影響機能	影響現象	エラー表示例
10 ロールバッケージファイルに含むplaybookでファイル埋込変数を使用する場合、アップロードする前にファイル埋込変数を登録する。	×	0	×	ロールバッケージを登録する前にファイル埋込変数を登録している	ロールバッケージを登録する前にファイル埋込変数を登録しい ていない	ロールパッケージ管理	事前アップロート時に警告を表示します。	ロール(ッケージファイル(ZIP南式) アップロード状況: PlaySock(Cyrismyleitaska/moin.ym)の2行音のcopy モジュール地の2か点数(CYR.SAMPLE)がファイル環境に登録されていません。
11 Ansible-LegacyRoleコンソールでアップロードするロールパッケージファイルは froles」のある機器のディレクトリをzoicで圧縮したものは記記を例参照を用意する。	×	0	×	************************************	*rolesディレクトリがない xxxxx/A/tasks/main.yml xxxxx/A/defaults/main.yml	ロールバッケージ管理	事前アップロード時に警告を表示します。	ロールパッケージファイル(ZIP所定) F:WCF_ALBOCAppule_disabled/sample:WC  参覧  事能アップロード アップロード以記: clesディレクトリがありません。
各ロールのデフォルト変数定義ファイルで配列変数を定義する際の注意事項 ・県・ロールバッケージ ロールを誇って同じ実数名を使用しているが配列変数のゲンバー変数の定義が違う際。 ロールを誇って同じ実数名を使用しているが配列変数のゲンバー変数の定義が混在している場合。 コールでリーン・ジーというが、アースを受けます。 ロールバッケージ・アースを対する。 コースをデースを使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が選出しているが、アージを誇って同一変数名を使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が、これた。 これた。これたは管理に変数名が表示されません。	×	0	×	別シート【配列変数を定載する際の注意事項】参照	別シート【配列変数を定義する際の注意事項】季照	・単一ロールバッケージ ジロールバッケージ管理 ・全ロールバッケージ 代入値管理	- 導一ロールパッケージ ロールパッケージを登録できません。 ・全ロールパッケージ 思別実数に高数でできません。 ロールパッケージに定義されている値で実行します。	場一ロールパッケージ  ロールパッケージファイル(21P等次)  フップロード状況: コールドの反抗を言うファイル(21P等次) フップロード状況: コールドの反抗を言うファイル(21P等次) 全部 (24A SAMFLE) ロール名 roket/G  roket/G  roket/G  **
13 ・配列変数を使用する際は、defaultsディレクトリのmain.ymlに右記記載例を参考に記入する ※最低1行は定義必須	×	0	×	[defaults/main.yml] VAR.01: - [VAR.SAMPLE.01: "001", VAR.SAMPLE.02: "002" ] - [VAR.SAMPLE.01: "101", VAR.SAMPLE.02: "102" ]	[defaults/main.yml] VAR.01:	代入值管理	配列変数として認識されないので、メンバー変数に値を設 定することができません。 作業実行時にメンバー変数未定義のエラーとなります。	登録   ポルーション   Novemet*
14 横築コードの基本書式におけるインデントは2倍数で調整する	0	0	0	- △name: サービススクリプト配置 △ △templete: "I kem.sro   " △ △ △ △ Ase: "I kem.sro   " △ △ △ △ Óost: "I kem.dest   " 	・インデントが名権数になっていない - △name: サービススクリプト配置 △ △ Δemplate:	作業実行	作業実行時に想定外エラーとなります。	■ 進行状房(エラーログ)  フィルタ:  「毎週行のみ表示  〒91ay0xxx ファイル(00000000001-1xdert, yal)の計算のインデントが下上、  デ91ay0xxx ファイル(00000000001-1xdert, yal)の計算のインデントが下上。

# 配列変数を定義する際の注意事項

No.	ロールパッケージ	roles	defaults/main.yml	動作	記載内容
1	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が同じ
'		В	VAR_SAMPLE: - {		
2	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる
2		В	VAR_SAMPLE: - {		
3	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	×	・変数名が同じ
		В	VAR_SAMPLE: - {	^	・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
4	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ ・一般の変数と配列変数が混在している
7		В	VAR_SAMPLE: aaaa		
5	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ
	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }		・メンバー変数の記載順序が同じ
6	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる
U	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - {		
7	サンプル01	A	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ
	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_003: "aaaa" , VAR_004: "bbbb" }		・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
8	サンプル01 サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	×	・変数名が同じ
J		Α	VAR_SAMPLE: aaaa	^	・一般の変数と配列変数が混在している

### astrollで取り込めるAnsibleのRole応用例

No.	lo. 変数 モジュール/横文 動作内容			ディレクトリ/ファイル						
NO.	・ 夏城 モンユール/無文		野作が番	defaults/main.yml	tasks/main.yml	templates/※※※.txt				
1	一般変数	with_items	一般変数を使用した with_itemsモジュール	VAR_test: SAMPLE	- name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/[[ item ]] with items: - "[[ VAR_SAMPLE ]]"	-				
2	一般変数	if	一般変数を使用した if構文	VAR_SAMPLE: True	- name: 配列変数を仕込んたアンノレートを配直	(\$ if VAR,SAMPLE is defined and VAR,SAMPLE == True \$  出力したい文字 (\$ endif \$				
3	配列変数	with_items	配列変数を使用した with_itemsモジュール	VAR SAMPLE: - [ VAR,001: "aaaa", VAR,002: "bbbb" ] - [ VAR,001: "coco", VAR,002: "dddd" ] - [ VAR,001: "eeee", VAR,002: "ffff" ]	- name: ファイル内 警確認 shell: cat /tmp/"[[ item.VAR,001 ]]" with items: - "[[ VAR,SAMPLE ]]" - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[ item.VAR,002 ]]" with items: - "[[ VAR,SAMPLE ]]"	-				
4	配列変数	for	配列変数を使用した for構文	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } - { VAR_001: "cccc" , VAR_002: "dddd" } - { VAR_001: "eeee" , VAR_002: "ffff" }	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※.txt	(% for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE %) ((t tmp_SAMPLE_VAR_001 )) ((t tmp_SAMPLE_VAR_002 )) (% endfor %)				
5	配列変数	for if	配列変数を使用した for構文及び ir構文でのループ制御	VAR SAMPLE: - [ VAR 01: 1 , VAR 02: 001 ] - [ VAR 01: 0 , VAR 02: 002 ] - [ VAR 01: 1 , VAR 02: 003 ]	- name: ループと条件分岐の応用例 shell:   top_SAMPLE in VAR_SAMPLE % 係 for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE % 像 if tmp_SAMPLE.VAR_01 = 1 %] echo [[ tmp_SAMPLE.VAR_02 ]] 像 slee %] true {\$ endif %]	-				
6	配列変数	for if	配列変数を使用した forl構文及び ir構文でのループ制御	VAR_SAMPLE: = [ VAR_01: 1, VAR_02: 001 ] = [ VAR_01: 0, VAR_02: 002 ] = [ VAR_01: 1, VAR_02: 003 ]	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※※.txt	[% for tmp, SAMPLE in VAR, SAMPLE %] (% if tmp, SAMPLE VAR 0! == 1 %] echo [[ tmp, SAMPLE.VAR, 02 ]] (% else %) true (% endif %) (% endfor %)				